

青少年福祉体験教室実施要綱

1 目的

この事業は、児童・生徒が、社会福祉施設等への訪問体験を実施することにより、社会福祉への理解と関心を深め、かつ相互扶助の精神を育成させることを目的とする。

2 実施主体

大分県社会福祉協議会（以下「県社協」という。）並びに当該市町村社会福祉協議会（以下「市町村社協」という。）

3 協力施設

市町村社協の依頼により、受入可能な社会福祉施設等

4 対象者

- ① 県下小・中・高等学校の児童・生徒…………… 1校あたり30名以内
- ② 引率者 ……………1校あたり3名以内

5 対象施設

実施校と同一市町村、もしくはその近隣に所在する社会福祉施設等。
保育所については、原則高校生以上を対象。

6 実施方法

市町村社協と実施校と協議の上、対象施設を決定し、市町村社協、実施校、施設の三者において一日体験教室のカリキュラムを作成する。

※体験教室の日程（例）

9：30～ 9：40	施設長あいさつ
9：40～10：00	オリエンテーション・施設見学
10：00～10：45	講話「体験教室に期待するもの」
10：45～12：00	施設利用者との交流
12：00～13：30	施設利用者と昼食
13：30～15：00	施設利用者との交流
15：00～16：00	施設職員との話し合い及び反省会 必要に応じて休憩時間を取る

7 経費

本体験教室に要する経費のうち、昼食代(一人当り500円程度)、保険料(ボランティア行事用保険一人当り28円、最低掛金560円)について、県社協にて負担する。

なお、保険加入手続きは、市町村社協で行う。

8 事務手続

①実施希望申込

市町村社協は県社協へ次の書類を提出する。

- i) 実施希望申込書 ……………別紙 1
- ii) 実施計画書及び支出予定額内訳書 ……………別紙 2

②実施報告書の提出

市町村社協は体験教室終了後、30日以内に次の書類を提出する。

- i) 請求書 ……………別紙 3
- ii) 実施報告書及び支出済額内訳書 ……………別紙 4

別紙 1

平成 年度
青少年福祉体験教室実施希望申込書

平成 第 年 月 日
号

社会福祉法人
大分県社会福祉協議会会長 殿

社協名
会長名

印

別紙のとおり申込みいたします。

別紙 2

平成 年度

青少年福祉体験教室実施計画書及び支出予定額内訳書

実施予定年月日 ()
 実施予定施設 ()
 学校名 ()
 体験予定者数 (児童・生徒数 名、引率教諭数 名)

時 間	内 容

支出予定金額	内 訳

平成 年度
青少年福祉体験教室必要経費請求書

平成 年 月 日
第 号

社会福祉法人
大分県社会福祉協議会会長 殿

社協名
会長名

印

標記の件につきまして、下記のとおり請求いたします。

金 _____ 円

振込口座

銀行名 _____

支店名 _____

口座番号 _____

口座名義 _____

別紙 4

平成 年度

青少年福祉体験教室実施報告書及び支出済額内訳書

実施年月日 ()
 実施施設 ()
 学校名 ()
 体験者数 (児童・生徒数 名、引率教諭数 名)

時 間	内 容

支 出 済 額	内 訳

※活動写真や感想文があれば写を数点送付下さい。
 ※支出額に応じた領収書の写しを添付してください。